

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

平成29年度の成果を踏まえ、各文化施設の特徴を活かし、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にした舞台芸術公演や、市民参加型事業を実施した。また、管理運営について経費節減や施設利用の活性化と市民サービスの向上に努め、より一層の文化環境の醸成と市民文化活動の振興を図り、文化の香りあふれるまちづくりを目指した。同時に、姫路市の国際化と地域ぐるみの国際交流事業を推進し、市民の国際交流についての理解と関心を高め国際感覚を育成するとともに、諸外国との相互理解と友好親善を深め、さらに世界に開かれた魅力ある都市づくりに努めた。

平成30年度は、財団が設立30年を迎え、文化芸術、国際交流事業により生み出される心豊かな活力ある社会の形成を築くため、事業企画運営力向上を目指し、日本を代表する作曲家・池辺晋一郎氏を財団の芸術監督に迎えるとともに、音楽プロデューサーを配置し、より質の高い舞台芸術公演の実施と個性ある文化芸術の振興を図った。

平成30年度の事業については、姫路市が推進する「音楽のまち・ひめじ」事業のさらなる活性化を図り、多彩な新規事業を展開した。目玉公演としては、「N響姫路公演」や他館とも連携した市民参加型オペラ「ヘンゼルとグレーテル」など新たな大型事業に挑戦するとともに、事業に沿った内容のイベントやワークショップなどを積極的に開催。舞台と街中どちらでも文化に触れ合える機会を提供した。

財団の運営については、姫路市が策定した「文化振興ビジョン」に基づき、市と連携しながら市民の文化芸術活動の支援及びネットワークの形成に努め、個性豊かな文化芸術の振興を図るとともに、財団の更なる健全な経営に努めた。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

- 公益目的事業1（略＝〔公1〕）音楽・演劇等の公演事業
- 公益目的事業2（略＝〔公2〕）文化振興のための育成普及事業
- 公益目的事業3（略＝〔公3〕）博物館の企画展示事業
- 公益目的事業4（略＝〔公4〕）文化施設の貸与及び管理運営事業
- 公益目的事業5（略＝〔公5〕）国際交流事業
- 収益事業1（略＝〔収1〕）管理運営施設等の物品販売事業
- 収益事業2（略＝〔収2〕）文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業
- その他事業1（略＝〔他1〕）その他の文化・国際交流事業

I 財団設立30年特別企画事業

財団設立30年を記念して、普段実施できない、多彩な記念事業を開催し、継続的に実施してきた財団事業の補完的な役割を果たした。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	【春季特別展示】 書寫山圓教寺一歴史を 語る美術と工芸 〔公3〕	30.4.21(土) ～6.3(日) 39日間	美術工芸館	西国三十三所草創1300年と位置づけられる年を記念して、圓教寺に伝わる絵画や仏具、什物など、圓教寺の歴史やかつての巡礼の賑わいを感じさせる作品を150点展示紹介した。 【入場者】8,206人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
2	宮川彬良&アンサンブル・ベガ 〔公1〕	30.6.3(日) 【1回】	文化センター 大ホール	家族で気軽にクラシックを楽しめるコンサートとして、Eテレの音楽番組「クインテット」にもレギュラー出演していた宮川彬良とアンサンブル・ベガによる、ユーモアあふれるトークを交えたエンタテインメント・クラシック・コンサートを実施した。 【入場者】1, 277人
3	DRUM TAO 2018 「ドラムロック 疾風3」 〔公1〕	30.6.24(日) 【1回】	文化センター 大ホール	世界に認められた最先端の日本エンターテインメントを日本全国、世界各地で展開する和太鼓集団TAOによる、近未来的な衣装、アクロバットや武術、3D プロジェクションマッピングを交えた躍動感あるステージを実施した。 【入場者】897人
4	N響 姫路公演 N響メンバーによる金管 五重奏 〔公1〕	30.7.1(日) 【1回】 30.4.7(土) 【1回】	文化センター 大ホール 淳心学院講堂 (心城館)	国際的に高い評価を得ている日本を代表する NHK 交響楽団を姫路に招聘し、市内外の幅広い世代にアプローチできるオーケストラ公演を実施しクラシック音楽の振興を図った。 【入場者】1, 385人 7月1日のN響姫路公演のPRとして、N響メンバー5名による無料公演を実施。終演後、学生を対象とした公開クリニックを実施した。 【入場者】演奏会: 350人、クリニック: 100人
5	【夏季特別展示】 夏休み子どもミュージアム ～紙であそぶ一紙と工芸品 〔公3〕	30.7.14(土) ～8.26(日) 39日間	美術工芸館	工芸品は、様々な材料で作られている。7回目となる本展では、主に夏休みの小中学生を対象に、工芸品の材料となる「紙」をテーマに館蔵品を展示するとともに、親子で楽しめる体験コーナーを設けた。 【入場者】6, 812人
6	【特別展示】 姫路藩窯東山焼展 〔公3〕	30.9.1(土) ～10.21(日) 44日間	美術工芸館	姫路城世界遺産登録25周年記念として開催。姫路の最も代表的な江戸時代のやきものである東山焼から、姫路藩のプライドをかけた高い水準の染付、青磁などを中心に、発掘資料や陶器質の作品群もあわせて180点展示紹介した。 【入場者】4, 355人
7	鄭義信 作・演出 「二十世紀少年少女読本」 〔公1〕	30.9.22(土) 9.23(日) 【3回】	キャスパホール	財団設立30年を記念し、当財団が2001年に初演から現在まで全国各地で再演されている名作「二十世紀少年少女読本」を17年ぶりに再演した。地元劇団からなるはりま演劇協議会との共同開催により、プロのゲスト俳優を迎えて実施した。 【入場者】879人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
8	【秋季特別展示】 アプリケと暮らしの美—宮 脇晴・綾子・檀親子展 〔公3〕	30.10.27(土) ～12.24(月祝) 51日間	美術工芸館	宮脇檀(没後20年)は美術工芸館の設計者 で、父の晴は洋画家、母の綾子はアプリケ作 家。檀の建築作品写真や図面など20点、 晴の油彩画12点、綾子の作品や資料78 点、の計約110点で芸術一家を紹介した。 【入場者】9, 148人
9	国際交流ふれあい教室 〔公5〕	30.11.23 (金祝) 30.12.8(土) 31.2.2(土) 【3回】	イーグレひめじ	在住外国人を講師に招き、講演や料理を通し て異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住 していることを知ってもらい、地域の国際化に ついて考える機会を作った。年3回実施。 アメリカのスイーツレモンバーを作ろう！ 【参加者】31名 第2弾アメリカのスイーツレモンバーを作ろう！ 【参加者】24名 モンゴルの旧正月料理ポーズを作ろう！ 【参加者】28名
10	【新春特別展示】 宮澤由雄生誕150年・姫 路押絵 〔公3〕	31.1.6(日) ～2.24(日) 43日間	美術工芸館	姫路押絵は宮澤由雄を創始として、その子ど もたちである鶴子、貞次、延栄を中心に継承 された。のぞきからくりのネタ絵や羽子板など を中心に127点展示した。 【入場者】7, 855人
11	兵庫プロデューサー・パートナ シップ(HPP)関連事業 兵庫オペラフェスティバル オペラ ヘンゼルとグレー テル 〔公1〕	31.2.3(日)	文化センター 大ホール	オペラ制作・上演実績のある関西二期会監修 のもと、関西の4ホール(たんば田園交響ホ ール・摂津市民文化ホール・たつの市総合文化 会館・姫路市文化センター)と連携して制作し た。地域の文化交流を促進し、人の輪を広げ るべく、地元のバレエ団、合唱団の出演協力 を得ることができた。親子で本格オペラを楽し めるよう3歳以上入場可として実施した。 【入場者】949人
12	「交響詩ひめじ」演奏会 〔公2〕	31.3.3(日) 【1回】	パルナソス ホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合 唱コンクールで優秀な成績をおさめた受賞団 体と関西フィルハーモニー管弦楽団、また池 辺晋一郎指揮によるジョイントコンサートを実 施した。 出演＝池辺晋一郎、関西フィルハーモニー管 弦楽団、合唱コンクール受賞団体とし て姫路市立広嶺中学校コーラス部、姫 路市立灘中学校コーラス部、合唱団 「響」、兵庫県立姫路南高等学校コー ラス部、福崎町立福崎西中学校合唱 部 【入場者】440人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
13	オラトリオ 「メサイア」Vol. 5 〔公1〕	31.3.24(日) 【1回】	パルナソス ホール	ホール縁のオーケストラメンバー、公募ソリスト、合唱団のプロ、市民参加(公募)のアマチュアによる、ヘンデルのメサイア全曲演奏会を開催した。 出演＝大塚直哉(指揮)、林裕美子、牧野真由美、頃安利秀、井上敏典、パルナソスメサイア合奏団(コンサートマスター：桐山健志)、パルナソスメサイア合唱団 他 【入場者】378人

※以下各部門別にも再掲する(事業名の頭に◎印記載)

II 文化振興事業

すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

1 音楽のまち・ひめじ

姫路市が推進する「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトに参画し、市民に広く多彩な音楽に触れる機会を提供し、姫路の音楽文化の高揚に寄与する事業を実施した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第21回姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	30.5.5(土・祝) 【1回】	文化センター 大ホール	播磨地域を中心としたアマチュアバンド12団体が実行委員会形式で企画・立案、広報、チケット販売を行った。 出演＝サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ「ムーンライトセレナーデ」、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部「レッツダンス」他 【入場者】1,352人
2	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	30.5.27(日) 31.2.17(日) 【年間2回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗を進行役に、当時の世相などを織り込んだ、オリジナル音源によるCDコンサートを実施した。本年度は日曜日年2回公演とした。 【入場者】2回566人
3	◎宮川彬良&アンサンブル・ベガ 〔公1〕	30.6.3(日) 【1回】	文化センター 大ホール	家族で気軽にクラシックを楽しめるコンサートとして、Eテレの音楽番組「クインテット」にもレギュラー出演していた宮川彬良とアンサンブル・ベガによる、ユーモアあふれるトークを交えたエンタテイメント・クラシック・コンサートを実施した。 【入場者】1,277人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
4	吹奏楽講習会 〔公2〕	30.6.10(日) 【1回】	文化センター 大ホール	指揮者・作曲家の天野正道による吹奏楽の講習会を実施した。多くの学生・市民に参加を呼びかけ、吹奏楽の普及・向上を図った。西播吹奏楽連盟との共催事業。 【入場者】937人
5	◎DRUM TAO 「ドラムロック 疾風3」 〔公1〕	30.6.24(日) 【1回】	文化センター 大ホール	世界に認められた最先端の日本エンターテインメントを日本全国、世界各地で展開する和太鼓集団TAOによる、近未来的な衣装、アクロバットや武術、3D プロジェクションマッピングを交えた躍動感あるステージを実施した。 【入場者】897人
6	◎N響 姫路公演 N響メンバーによる金管 五重奏 〔公1〕	30.7.1(日) 【1回】 30.4.7(土) 【1回】	文化センター 大ホール 淳心学院講堂 (心城館)	国際的に高い評価を得ている日本を代表する NHK 交響楽団を姫路に招聘し、市内外の幅広い世代にアプローチできるオーケストラ公演を実施しクラシック音楽の振興を図った。 【入場者】1,385人 7月1日のN響姫路公演のPRとして、N響メンバー5名による無料公演を実施。終演後、学生を対象とした公開クリニックを実施した。 【入場者】演奏会:350人、クリニック:100人
7	避難訓練コンサート 〔公2〕	30.9.26(水) 【1回】	文化センター 大ホール	公演中の災害発生を想定し、コンサートの最中に実際に避難訓練を行うと共に、災害から身を守るための講習を実施した。 【入場者】250人
8	リトミックあそび 〔公2〕	30.10.24(水) 30.11.29(木) 30.12.24(月) 【年間3回】	イーグレひめじ あいめっせホ ール	10月、11月はリトミック、12月はコンサート形式で実施した。リトミックは1部と2部に分け、参加する子どもの年齢に合わせた内容で開催した。 【入場者】延べ332人
9	第21回姫路ミュージック・ストリート 〔公1〕	30.10.28(日) 【1回】	文学館 心城館 南風会サロン	姫路城周辺にある公立及び民間の施設を会場とし、地元出身又は地元で活躍しているプロ、アマチュア音楽家によるコンサートを実施した。 【入場者】延べ610人
10	京フィルクリスマスコンサート 0歳から入場できる「ちびっこクリスマス」 〔公1〕	30.12.15(土) 【1回】	文化センター 小ホール	子どものコンサートデビューに適する乳幼児、未就学児が入場可能なファミリー向けクラシック演奏会を実施した。本格クラシック演奏に加え、クラシック音楽やコンサートに親しみを持てるよう、子どもたちのための指揮者体験コーナーを行った。 【入場者】466人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
11	小泉八雲 朗読のしらべ 「転生」－絶望の淵から 蘇る輪廻の調べ 〔公1〕	30.12.16(日) 【1回】	キャスパホール	島根県松江市出身で長年交友を育む俳優・佐野史郎の朗読とギタリスト・山本恭司のギター演奏により、「耳なし芳一」「ろくろ首」「雪女」などの作品で知られる小泉八雲の多彩で深遠なイメージの世界を表現する総合芸術的な舞台公演を実施した。 【入場者】225人
12	◎兵庫プロデューサー・パートナーシップ(HPP)関連事業 兵庫オペラフェスティバル オペラ ヘンゼルとグレーテル 〔公1〕	31.2.3(日)	文化センター 大ホール	オペラ制作・上演実績のある関西二期会監修のもと、関西の4ホール(たんば田園交響ホール・摂津市民文化ホール・たつの市総合文化会館・姫路市文化センター)と連携して制作した。地域の文化交流を促進し、人の輪を広げるべく、地元のバレエ団、合唱団の出演協力を得ることができた。親子で本格オペラを楽しめるよう3歳以上入場可として実施した。 【入場者】949人
13	パルナソス 朝のハーモニー 〔公1〕	年 間 【5回】	パルナソス ホール	第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサートを実施した。出演者は、「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図った。 【入場者】延べ1, 104人

〔パルナソス育成普及事業〕

NO	事業名	開催日	内容
1	第21回姫路パルナソス 音楽コンクール 第21回姫路パルナソス 音楽コンクール入賞者 演奏会	30.5.13(日) 【1回】 30.7.15(日) 【1回】	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、姫路地域における音楽活動の支援を目的とするコンクール。審査委員長は当財団の芸術監督に就任した作曲家の池辺晋一郎が務め、全国から集まったレベルの高い参加者が競い合った。またコンクール入賞者による演奏会を実施した。 【入場者】330人
2	室内楽演奏会 グラドゥス・アド・パルナ ツスム NHK 交響楽団第1コン サートマスター篠崎史 紀&N 響メンバーによる New Year コンサート 〔公1〕	30.11.8(木) 【1回】 31.1.21(日) 【1回】	室内楽で活躍する関西出身の演奏家、NHK 交響楽団メンバーを迎え、楽器の魅力や演奏者の技量が発揮される小編成での重奏による上質な演奏会を実施した。 出演＝玉井菜採、馬淵昌子、河野文昭、上田晴子／ 篠崎史紀、山岸努、横溝耕一、桑田歩、本間達朗 【入場者】468人

NO	事業名	開催日	内容
3	上田晴子ピアノスクール 「マスタークラス」 〔公2〕	30.12.21(金) ～12.24(月休) 【4回】	ピアノソロとアンサンブルの公開レッスンを実施。技術面だけでなく演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニックを行った。 講師＝上田晴子(パリ国立高等音楽院ピアノ科准教授) 【実技受講者】41人 【聴講者】81人
4	バロック in 姫路 「コンチェルト・ケルン」 〔公1〕	31.2.10(日) 【1回】	音楽ホールの特性を活かした、ホールの楽器(チェンバロ)を使用してのバロックコンサート。バロック時代そのままの響きを今に伝える世界的な古楽オーケストラにより、バロック音楽、古楽器の魅力を伝える演奏会を実施した。 出演＝コンチェルト・ケルン 【入場者】277人
5	◎オラトリア 「メサイヤ」Vol.5 〔公1〕	31.3.24(日) 【1回】	ホール縁のオーケストラメンバー、公募ソリスト、合唱団のプロ、市民参加(公募)のアマチュアによる、ヘンデルのメサイア全曲演奏会を開催した。 出演＝大塚直哉(指揮)、林裕美子、牧野真由美、頃安利秀、井上敏典、パルナソスメサイア合奏団(コンサートマスター:桐山健志)、パルナソスメサイア合唱団他 【入場者】378人
6	交響楽振興事業ワークショップ 〔公1〕	通 年 【21回】	小学生への音楽教育の一環として、小学生に音楽を鑑賞する楽しさを知ってもらうためのワークショップやミニコンサートを実施した。子どもの情操教育の充実をめざし、感性を豊かに育む活動として実施し、地域文化の向上と交響楽の振興と普及に努めた。 ・ワークショップ 増位小学校(7.9、7.12、7.17)学年毎、計6回 山田小学校(9.5、9.6、9.7)学年毎、計6回 津田小学校(9.11、9.12)学年毎、計6回 ・ミニコンサート(全学年)各校1回 山田小学校(11.16)、津田小学校(11.20)、増位小学校(11.26) ・ホールコンサート 交響詩ひめじ演奏会 指揮:池辺晋一郎 演奏:関西フィルハーモニー管弦楽団 参加校:山田小学校、津田小学校、増位小学校 対象5・6年生 【参加者】延べ1,432人

[パルナソス楽器普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.1 〔公2〕	通 年 31.3.15(金) 【1回】	パルナソス ホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り実施した。 「オルガン講座」講師＝長田真実 1日体験(12. 8) 【受講者】9人 1日体験(1. 19) 【受講者】18人 1日体験(2. 17) 【受講者】24人 「オルガンシリーズ」 第1回＝長田真実、大平健介 【入場者】245人
2	チェンバロ講座 〔公2〕	通 年	パルナソス ホール	チェンバロの活用と普及のための講座を実施した。 講師＝大塚直哉、小樽由布子、高橋千恵 (チェンバロ)、湯浅宣子(ダンス) 体験コース 【受講者】延べ15人 入門コース 【受講者】延べ48人 初級コース 【受講者】延べ52人 課題曲ワークショップ【受講者】延べ63人 上級コース 【受講者】延べ8人 ダンス講習会 【受講者】延べ23人 受講者演奏会(3. 17)【入場者】107人
3	アウトリーチ事業 「ポジティブオルガン出 前ワークショップ」 〔公2〕	通年	市内小学校	小学生への音楽教育の一環として、移動が可能なポジティブオルガンを活用し、パイプオルガンとその音楽を鑑賞する楽しさを知ってもらうための出前ワークショップを実施した。 子どもの情操教育の充実をめざし、感性を豊かに育む活動として実施し、パイプオルガンの振興と普及に努めた。 実施校＝白鳥小学校(10.22)、安富南小学校(11.21)、荒川小学校(11.22)林田小学校(11.29) 【参加者】延べ1, 620人

〔交響詩ひめじ普及事業〕 〔公2〕

姫路市が1989年に市制百周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」の普及のため、作曲者の池辺晋一郎を審査委員長とする合唱コンクールや演奏会を開催した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第29回「交響詩ひめじ」合唱コンクール 交響詩ひめじ「ワークショップ」	31.2.3(日) 31.2.2(土)	パルナソスホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。前日には作曲者池辺晋一郎によるワークショップを実施した。 審査員＝池辺晋一郎(「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家) 参加＝13団体(小・中学生の部5団体、高校・一般の部8団体) 最優秀賞＝姫路市立広嶺中学校コーラス部、合唱団「響」 優秀賞＝姫路市立灘中学校コーラス部、兵庫県立姫路南高等学校コーラス部 池辺晋一郎特別賞＝福崎町立福崎西中学校合唱部 【入場者】ワークショップ129人、コンクール532人
2	◎「交響詩ひめじ」演奏会	31.3.3(日)	パルナソスホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクールで優秀な成績をおさめた受賞団体と関西フィルハーモニー管弦楽団、また池辺晋一郎指揮によるジョイントコンサートを実施した。 出演＝池辺晋一郎、関西フィルハーモニー管弦楽団、合唱コンクール受賞団体として姫路市立広嶺中学校コーラス部、姫路市立灘中学校コーラス部、合唱団「響」、兵庫県立姫路南高等学校コーラス部、福崎町立福崎西中学校合唱部 【入場者】440人

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕

〔公2〕

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、季刊プログラムの発行を行い音楽の力で盛り上げた。また、30年度は、海上自衛隊東京音楽隊による学生対象の音楽クリニックや、ショッピングモールでのアマチュアによるコンサートなどを実施した。

〔ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会事務局業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、世界文化遺産姫路城、書写山圓教寺をはじめとする姫路の魅力の世界に向けて発信することを目的として、平成20・22年に姫路国際音楽祭「ル・ポン」を開催した。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。30年度は、赤穂2公演、姫路4公演を開催。姫路国際音楽祭実行委員会が主体となり準備から本番まで様々な業務を行った。

2 市民文化高揚事業

芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を実施するとともに、市民参加を促す振興事業を実施した。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	魔法使いアキッ・マジカルステージ『魔法の1ページ in 姫路キャスパホール』 〔公1〕	30.7.22(日) 【1回】	キャスパホール	需要が広がっている「子どもから大人まで楽しめる」ファミリー向け企画として不思議で優しい世界観で全国にファンを持つ魔法使いアキッによる、ストーリー性を持った体験型ファミリーエンタテインメントショーを実施した。 【入場者】317人
2	第46回姫路落語会 〔公1〕	30.8.4(土) 【2回】	文化センター 小ホール	桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。今年はお客様の強い要望を受け、2回公演を実施した。 出演・演目(出演順) 桂慶治郎 「金明竹」 桂米紫 「兵庫船」 桂吉弥 「茶の湯」 桂塩鯛 「上爛屋」 桂米團治 「稽古屋」 桂ざこば 「船弁慶」 【入場者】864人
3	第25回記念 キャスパ能 〔公1〕	30.8.19(日) 【1回】	キャスパホール	キャスパ能開催25周年を記念し、姫路能楽会と共催で、関西で観る機会の少ない「草子洗小町」を上演した。伝統芸能への興味や理解を促進するため、公演前に初心者講座を、上演の冒頭で解説を行った。 【入場者】193人
4	劇団四季ファミリーミュージカル「魔法をすてたマジリン」 〔公1〕	30.8.10(金) 【1回】	文化センター 大ホール	劇中随所にフライングや客席芝居など、観客を飽きさせない演出が取り入れられた劇団四季ミュージカル。魔法の小学生マジリンと人間たちとの心と心の交流を通して「生きることの素晴らしさ」「友情の大切さ」などのメッセージが込められた作品を上演した。 【入場者】980人
5	舞台技術講習会「子どもから大人までの演劇ワークショップ」 ～そんなにきばらんでええよ、誰にでもできるけえ～ 〔公2〕	30.9.9(日) 【1回】	キャスパホール	プロ講師の指導により、演劇に必要な技術や心構えを分かりやすく学べる講習会を実施した。今回は財団設立30年特別企画演劇公演の脚本・演出を手掛けた姫路市出身の鄭儀信氏を講師として迎え、充実した講習会になった。 【入場者】67人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
6	松竹大歌舞伎 〔公1〕	30.9.14(金) 【1回】	文化センター 大ホール	全国公立文化施設協会統一企画「松竹大歌舞伎」西コースを実施した。 出演:片岡愛之助、中村松江、中村耄太郎、市川門之助 他 演目:義経千本桜 一.道行初音旅 二.川連法眼館 【入場者】1,290人
7	◎鄭儀信 作・演出 「二十世紀少年少女 読本」 〔公1〕	30.9.22(土) 9.23(日) 【3回】	キャスパホール	財団設立30年を記念し、当財団が2001年に初演から現在まで全国各地で再演されている名作「二十世紀少年少女読本」を17年ぶりに再演した。地元劇団からなるはりま演劇協議会との共同開催により、プロのゲスト俳優を迎えて実施した。 【入場者】879人
8	第27回キャスパ寄席 〔公1〕	30.11.24(土) 【1回】	キャスパホール	桂米朝一門の中堅、若手による落語会を実施した。桂すずめ(女優の三林京子)が出演したことで話題を呼んだ。演目は、会場の雰囲気により決定した。 出演・演目(出演順) 桂團治郎 「看板のピン」 桂二乗 「阿弥陀池」 桂宗助 「抜け雀」 桂すずめ 「まめだ」 桂文之助 「星野屋」 【入場者】318人
9	第20回今日も元気だ! 茂山狂言 〔公1〕	31.1.20(日) 【1回】	キャスパホール	茂山ファミリーによる新作狂言と古典狂言を上演した。上演前に狂言や演目についての解説と客席で出来る簡単なワークショップを実施した。 出演=茂山千五郎、茂山七五三、茂山あきら他 演目=ワークショップ&解説 「筑紫奥」「附子」「彦市ばなし」 【入場者】266人
10	ユネスコ無形文化遺産 人形浄瑠璃「文楽」 〔公1〕	31.3.10(日) 【1回】	文化センター 小ホール	日本が世界に誇る高度な舞台芸術であり、義太夫、三味線、人形遣いが三位一体となり演じる人形浄瑠璃公演を実施した。 演目=解説 「義経千本桜」椎の木の段・すしやの段 【入場者】305人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
11	高校生による演劇公演 「ハムレット」 〔公1〕	31.3.23(土) 3.24(日) 【3回】	キャスパホール	キャスパホール開館25周年記念として、15年に亘って継続してきた舞台技術講習会の集大成となる演劇公演の第3弾を実施した。兵庫県高等学校演劇研究会西播支部と共催で、演劇に携わる若者の育成を図り、シェイクスピアの名作「ハムレット」を3回公演で上演した。 【入場者】3回830人

〔その他〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第27回 こころの祭 姫路 〔公2〕	30.11.11(日)	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催しを実施した。実施協力者は6～7月に公募し決定した。 実施協力者＝35件 【入場者】3,649人
2	名画鑑賞会 ～時代を彩るアイドルたち～ 〔公1〕	30.12.20(木) 12.21(金)	文化センター 大ホール	優秀映画鑑賞推進事業として、東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の邦画を上映した。2日間で4作品の上映を行った。(35ミリ) 上映作品:～時代を彩るアイドルたち～ 20日 「伊豆の踊子」「時をかける少女」 21日 「野菊の墓」「ぼくらの七日間戦争」 【入場者】396人
3	2019 文化交流フェスティバル 〔公2〕	31.3.22(金) 【1回】	姫路キャッスル グランヴィリオ ホテル	文化人等の交流の場として実施した。 第1部/姫路市芸術文化賞表彰式 第2部/文化交流パーティー 【入場者】252人
4	文化事業連絡会 〔他1〕	年間	イーグレひめじ 会議室 他	近隣の文化会館との情報交換と交流を行った。
5	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営を行った。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行った。4月20日(金)四国こんぴら歌舞伎大芝居鑑賞ツアーを実施した。 【ツアー参加者】40人

3 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公2〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信した。季刊3,800部

- ① 108号(夏号) 特集:はりまの庭園
- ② 109号(秋号) 特集:世界遺産25周年 姫路城は、いま
- ③ 110号(冬号) 特集:おいしい播磨
- ④ 111号(春号) 特集:播磨の巡礼道に行く

4 「文化情報姫路」の発行 [公2]

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」A4版を毎月発行して市民に提供した。月刊12,000部。

5 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 [公2]

(1) 助成金の交付

年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活性化を図った。

応募＝58件 交付＝54件(辞退2件)

(2) 後援名義の使用許可

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動及び国際交流を推進する事業を行う団体や個人の国際交流事業に対して、財団の後援名義の使用を許可した。

許可＝275件(内訳:音楽160件、美術29件、演劇15件、舞踊 24件、映画鑑賞14件、伝統芸能9件、文学5件、国際交流2件、その他17件)

6 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

7 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の中の1局を姫路に誘致するため、市民を対象とした大盤解説に助成し、市民文化の向上と姫路市のPRに努めた。

開催日＝5月22日(火)

開催場所(大盤解説)＝総社会館

対局者＝○里見香奈(女流王位) ― ●渡部愛(女流二段)

【入場者】100人

8 姫路地方文化国際交流団体名簿発行(改訂版) [公2]

平成27年版(平成27年11月発行)の姫路地方文化国際交流団体名簿の改訂版を発行し、文化団体、国際交流団体の活動情報収集、および連携を図った。

名称＝平成31年版姫路地方文化国際交流団体名簿

発行＝平成31年3月

掲載件数＝556件

9 姫路市民文化祭 [公1]

日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらおう文化の祭典として、交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、能楽、民謡、吟剣詩舞道、演劇、茶華道、俳句、盆栽など各分野で活躍する郷土の235団体、6,500人の出演者、14,865人の入場者を得て22の催物を盛況にて終えた。

開催日＝11月2日(金)～11月25日(日)

開催場所＝文化センター、キャスパホール、市民会館、勤労市民会館

10 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行った。表彰式は、3月22日(金)に文化交流フェスティバルで行った。

(1)選考委員会 1月15日(火)、1月24日(木)

(2)選考結果

芸術文化大賞＝藤原向意(美術)

芸術文化賞＝今村雅俊(合唱指導)、上田晴子(ピアノ)、サークルさえずり(音訳活動)、原田隆子(陶芸)

芸術文化年度賞＝陽介(邦楽)

芸術文化奨励賞＝津山邦寧(郷土史)、Yutaka Nakata(洋舞)、見野古墳群保存会(郷土史)

11 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施した。

(1) 企画展 [公3]

展覧会名	会期	内容
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 三重県の諸玩具	30.4.7(土) ～8.23(木) 121日間	四日市の大入道、伊勢の竹鳴りごま、練り物細工の獅子頭、鉢巻蛸、伊賀上野の楼車土鈴、松阪の本居遺愛の鈴、猿はじきなど127点を展示した。 【入場者】16,401人
◎【春季特別展示】 書寫山圓教寺一歴史を語る美術と工芸	30.4.21(土) ～6.3(日) 39日間	西国三十三所草創1300年と位置づけられる年を記念して、圓教寺に伝わる絵画や仏具、什物など、圓教寺の歴史やかつての巡礼の賑わいを感じさせる作品を150点展示紹介した。 【入場者】8,206人
◎【夏季特別展示】 夏休み子どもミュージアム～紙であそぶ一紙と工芸品	30.7.14(土) ～8.26(日) 39日間	工芸品は、様々な材料で作られている。7回目となる本展では、主に夏休みの小中学生を対象に、工芸品の材料となる紙をテーマに館蔵品を展示するとともに、親子で楽しめる体験コーナーを設けた。 【入場者】6,812人
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 埼玉県の諸玩具	30.8.25(土) ～12.13(木) 95日間	埼玉県船渡、五関、春日部の張り子、鴻巣の練り物細工の獅子頭、弓獅子、日高市高麗神社の將軍標など109点を展示した。 【入場者】13,763人
◎【特別展示】 姫路藩窯東山焼展	30.9.1(土) ～10.21(日) 44日間	姫路城世界遺産登録25周年記念として開催。姫路の最も代表的な江戸時代のやきものである東山焼から、姫路藩のプライドをかけた高い水準の染付、青磁など優品を中心に、発掘資料や陶器質の作品群もあわせて180点展示紹介した。 【入場者】4,355人
◎【秋季特別展示】 アブリケと暮らしの美— 宮脇晴・綾子・檀親子展	30.10.27(土) ～12.24(月祝) 51日間	宮脇檀(没後20年)は当館の設計者で、父の晴は洋画家、母の綾子はアブリケ作家。檀の建築作品写真や図面など20点、晴の油彩画12点、綾子の作品や資料78点、の計約110点で芸術一家を紹介した。 【入場者】9,148人

展覧会名	会期	内容
【企画展示】 はりこ絵付けコンクール 作品展	30.12.8(土) ～12.24(月祝) 15日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。6人が入賞し12人の募集作品を展示した。 【入場者】1,319人
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 大分県の諸玩具	30.12.15(土) ～31.4.4(木) 84日間	北山田のきじ馬、竹田の姫だるま、宇佐神宮のみくじ鳩、浜の市の一文人形、長浜神社の雛絵馬、鬼神社の鬼絵馬など159点を展示した。 【入場者】11,332人
◎【新春特別展示】 宮澤由雄生誕 150年・ 姫路押絵	31.1.6(日) ～2.24(日) 43日間	姫路押絵は宮澤由雄を創始として、その子どもたちである鶴子、貞次、延栄を中心に継承された。のぞきからくりのネタ絵や羽子板などを中心に127点展示した。 【入場者】7,855人
【特別展示】 2019年播磨工芸美術展	31.3.1(金) ～4.7(日) 32日間	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」メンバー13人による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作27点を展示した。 【入場者】2,939人
【特別展示】 公募展 2019 播磨・工芸 ビエンナーレ	31.3.23(土) ～4.7(日) 14日間	工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品を展示。隔年に開催し5回目となり、新人工芸作家の育成・発掘を図った。 【入場者】1,514人
私のいっぴんギャラリー	通 年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示した。 【応募者】20人

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

自然豊かな書写山の魅力を発信し、当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- ① 書写山新緑まつりイベント 5月3日(木・祝)～5月6日(日)の間
5日(水・祝) 陶芸教室を実施 【参加者】92人
- ② 開館24周年記念イベント 7月1日(日) 茶会を実施 【参加者】71人
- ③ たそがれコンサート 8月25日(土) コンサートを実施 【参加者】600人
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月17日(土) コンサートを実施 【参加者】100人
11月23日(木・祝) コンサートを実施 【参加者】70人

また、陶芸、染織、革細工、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。(教室【参加者】383人)

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施した。

実 演=姫路はりこ、姫路こま、姫山人形の製作

実演日=毎週金、土、日曜日、祝日(一部不定期) 【実演日数】延べ313日

(4) 常設展示や企画展示の付帯事業として図録等関連商品の販売を行った。 [収1]

Ⅲ 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民の国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入態勢の整備及び在住外国人の交流などの事業を実施した。

1 地域住民の国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) ◎国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を作った。年3回実施。

アメリカのスイーツレモンバーを作ろう！ 【参加者】31名

第2弾アメリカのスイーツレモンバーを作ろう！ 【参加者】24名

モンゴルの旧正月料理ポーズを作ろう！ 【参加者】28名

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市立の小中高等学校又は公民館等へ派遣し、スライド等を用いた講演を通して、市民の国際理解を深める機会を提供した。年間23回実施。

【参加者】2,180名

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市との友好交流を通して、両市の市民交流、市民の異文化理解を図った。

① 海外からの来姫者対応(随時)

② 太原市友好都市提携30周年記念訪問団受入

③ フェニックス市「アリゾナ祭り」における日本文化体験交流事業

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成した。

① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	4	7/21 ~ 8/6 17日間
アデレード市	高校生	5	7/27 ~ 8/9 14日間
太原市	中高生	10	8/2 ~ 8/8 7日間
昌原市	中学生	10	7/24 ~ 7/30 7日間
シャンティイ・シャルルロア市	中学生	5	7/21 ~ 7/31 11日間

平成30年度のクリチーバ市への派遣は中止。

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	4	6/13 ~ 6/28 16日間
アデレード市	高校生	3	9/30 ~ 10/12 13日間
太原市	中高生	10	7/5 ~ 7/11 7日間
昌原市	中学生	10	12/20 ~ 12/26 7日間

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

種類	発行回数	内容
外国語生活情報誌「VIVA!ひめじ」発行	年4回	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) 編集ボランティア13名、翻訳ボランティア延べ95名
VIVAの集い	年1回	「VIVA!ひめじ」の編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流会の実施。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]

FM Genki でベトナム語による生活情報等を提供した。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書により事業実施状況を報告した。

種類	発行回数及び部数	内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回 1,500部	活動報告及び会員便り。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回 各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回 1,200部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、その他のイベント通知をダイレクトメールにより送付した。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]

行事の告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供した。

4 外国人の受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級7クラス、初中級1クラス、中級1クラス各20名。年3期(5～7月/9～11月/12～3月)各10回開催。

② 日本語ひろば

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。

日本語ボランティア 51名、学習者 103名

(2) 市民のための外国語講座の開催

平成30年度は開催実績なし

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する、日本語学習支援ボランティアを養成する

ため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催した。

開催日＝8月18日(土)・19日(日)・25日(土)

会場＝イーグレひめじ

受講修了者＝46名

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。年2回

①「ボランティアステップアップ学習会 in 日本語ひろば」 【参加者】15名

②「多言語通訳ボランティア研修」 【参加者】36名

(5) 多言語生活相談

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援した。

開催場所	内容
市役所1階 市民相談センター	多言語生活相談の実施。 毎週火曜日 13:00～16:00(中国語、ポルトガル語・スペイン語) 【相談件数】 61件
国際交流センター	多言語生活相談の実施(ボランティアグループ「ひめじ発世界」への助成) 第2・4日曜日 14:00～17:00(スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・中国語・英語) ベトナム語は第2日曜日のみ。 【相談件数】 67件
市役所1階 市民相談センター 城東町総合センター 高木総合センター 見野の郷交流館 イーグレひめじ	ベトナム語生活相談の実施 毎週月～金 13:00～17:00 曜日によって実施場所が異なります。 【相談件数】 610件

(6) 地域交流事業

地域で暮らす在住外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりのための事業を実施した(2回)。また同様の事業を実施した2団体に助成した。

ラフルさんと作る本場インドカレーとナン 【参加者】 17名

マリアンヌさんとフランス風ランチ 【参加者】 16名

姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可した。

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアポリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図った。

開催日＝10月28日(日) 会場＝大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母国語としない在住外国人の日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供した。

開催日＝3月3日(日) 会場＝イーグレひめじ

【発表者】14名 【観客】280名

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 〔他1〕

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時受付。 平成31年3月末現在約350名
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業は、①日本語学習に関しボランティア51名が学習者 103名を支援した。また、学習者を対象にイベント(料理教室・日帰り旅行・運動会等)を実施した。②情報誌作成に関しボランティア(編集13名、翻訳延べ95名)が企画・取材・翻訳・編集に携わった。ボランティアの参画事業は、海外姉妹都市青少年派遣事業に関し、スムーズな運営のためのボランティアとして派遣事業50名、受入事業で40名が携わった。

IV 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を図った。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施した。また、大ホールで避難訓練コンサートを実施することにより、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することができた。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

1 姫路市文化センター(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝338,445人 使用率＝大ホール 65%、小ホール 64%

2 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 45,704人 使用率＝66%

3 パルナソスホールの管理運営

年間利用者＝ 29,547人 使用率＝76%

※平成29年10月23日から平成30年10月31日まで改修工事のため休館。

平成30年度 事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。